

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0005751010 生涯学習課施設管理係

事務事業 02483 公民館施設管理事業

電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり			
事務事業	001	公民館施設管理事業			
事業期間	昭和56年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	安城市公民館の設置及び管理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	公民館の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようにすることを目的としています。
手段	施設の利用に関する受付事務及び施設の維持に係る改修、修繕、委託事務を実施します。
事務内容	施設の利用に関する受付事務、施設の維持管理に関する事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	458,126	656,351	594,543
事業費	389,816	586,336	523,493
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	153,556	97,000
その他	63,930	69,199	50,294
一般財源	325,886	363,581	376,199
人件費計	68,310	70,015	71,050
正規（人）	10.35	10.45	10.15
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	施設の利用受付	施設の利用受付	施設の利用受付
	施設の適正な維持管理を実施	施設の適正な維持管理を実施	施設の適正な維持管理を実施

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月 6日
09時41分05秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751010 生涯学習施設管理係
事務事業 02483 公民館施設管理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
部屋利用率（利用部屋数 ÷ 利用可能部屋数）	%	47.00 42.17	0.00 41.16	47.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	会議室の貸館は他にもありますが、地域の防災拠点でもあります。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	会議、研修、講座利用などニーズはあります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由	部屋利用率は目標を下回っています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	空調設備委託業務等を見直しし事務改善に取り組んでいます。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	生涯学習施設としての利用促進に努めています。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	生涯学習施設として利用者が快適に利用できるように、また地域の防災拠点としても老朽化する施設の保全を図っていきます。また、利用者目線に立った施設備品の選定や利便性を高める修繕等を適宜実施していきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02484 市民会館施設管理事業

電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり			
事務事業	002	市民会館施設管理事業			
事業期間	昭和47年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	安城市市民会館条例、安城市市民会館条例施行規則				
備考					

【事業分析】

対象	市民会館の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようにすることを目的をしています。
手段	市民会館の管理運営を指定管理者へ委託し、施設の適正な維持管理を実施します。
事務内容	指定管理に関する事務、施設の維持管理に関する事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	69,983	113,019	89,563
事業費	67,343	111,009	85,363
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	67,343	111,009	85,363
人件費計	2,640	2,010	4,200
正規（人）	0.40	0.30	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	施設の管理運営を指定 管理者へ委託	施設の管理運営を指定 管理者へ委託	施設の管理運営を指定 管理者へ委託
	施設の適正な維持管理 を実施	施設の適正な維持管理 を実施	施設の適正な維持管理 を実施

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 7年11月 6日
09時41分05秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02484 市民会館施設管理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
会議室利用率	%	50.00	0.00	50.00
		46.00	46.00	0.00
サルビアホール利用率	%	60.00	0.00	60.00
		63.00	64.00	0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	3
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
2	理由	ホールや会議室の貸館は他でも行われています。	1
		必要性	
		市民ニーズの有無	
		1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
3	理由	公演、発表会、講演会、販売会などのニーズは多くあります。	1
		有効性	
		目標に対する進捗状況	
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
4	理由	ホールや会議室の利用率は概ね目標どおりの進捗です。	2
		効率性	
		事業の効率化・事業費の削減	
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
5	理由	指定管理者制度を導入しており、効率的な運営をしています。	1
		公平性	
		事業規模・サービス水準	
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
	理由	民間企業の提案力やノウハウを生かして、水準を保っています。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	平成27年度から指定管理制度を採用し、更新後新たに令和 5 年度から 5 年間の指定管理者により実施しております。利用率の低下にならないように指定管理者との連絡を密にし、事業の内容の確認、助言や指示を行っています。また、利用者が快適に施設を利用できるよう適切な維持補修等を実施するとともに、利用者サービス向上に向けて継続的に指定管理者の管理運営のモニタリング及び指導を行っています。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

5 頁

令和 7年11月 6日
09時41分05秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02485 天文普及事業

電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供			
事務事業	001	天文普及事業			
事業期間	昭和56年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・天文普及事業 ・プラネタリウム投映事業				

【事業分析】

対象	市民が
目的	天文の基礎知識を気軽に学ぶことができ、更に興味、関心を深めることができるようにすることを目的としています。
手段	幅広い年齢層を対象にした一般投映では広く天文普及を目指した番組を投映し、幼児や小中学生を対象にした団体投映では未来を担う子どもたちに宇宙に関する興味を抱かせるとともに、学校の授業の理解向上に繋がる番組を投映します。
事務内容	プラネタリウムの投映と番組更新及び天文普及に関する事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	39,942	56,810	44,567
事業費	35,982	52,790	38,967
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	24,457	29,294	30,124
一般財源	11,525	23,496	8,843
人件費計	3,960	4,020	5,600
正規（人）	0.60	0.60	0.80
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	一般投映の実施 （幅広い年齢層が観覧 できる番組） 団体投映の実施 （保育園、幼稚園、小 中学校等観覧者の年齢 に合わせた番組） 特別投映の実施 天体観望会の実施	一般投映の実施 （幅広い年齢層が観覧 できる番組） 団体投映の実施 （保育園、幼稚園、小 中学校等観覧者の年齢 に合わせた番組） 特別投映の実施 天体観望会の実施	一般投映の実施 （幅広い年齢層が観覧 できる番組） 団体投映の実施 （保育園、幼稚園、小 中学校等観覧者の年齢 に合わせた番組） 特別投映の実施 天体観望会の実施

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 7年11月 6日
09時41分05秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751010 生涯学習施設管理係
事務事業 02485 天文普及事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
一般投映及び団体投映 観覧者数	人	28,000.00 29,150.00	0.00 29,392.00	30,000.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	3
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	プラネタリウムの投映は他でも多く行われています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	天文を楽しく学べる場としてニーズはあります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	目標を上回る観覧者数を達成しました。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	専門知識を必要とする事業として委託し、効率を図っています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	近隣市と比較しても水準は保たれています。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	市民が天文に対して興味を持ち、学ぶことができるプラネタリウムとして魅力ある番組選定を実施していきます。 また、天文に関する興味、関心、想いを啓発し、天文の基礎知識及び天文普及事業に対する探究心や知識を高めるため、市民ニーズに沿った特別投映、天文観覧会などを委託業者に企画提案していきます。あわせて、プラ ネタリウムの魅力や投映情報を広く市内外に P R し、観覧者数の増加を図っていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02486 安祥閣施設管理事業 電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり			
事務事業	003	安祥閣施設管理事業			
事業期間	昭和54年度 ～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	安祥閣の設置及び管理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	安祥閣の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようにすることを目的としています。
手段	安祥閣の管理運営を指定管理者へ委託し、施設の適正な維持管理を実施します。
事務内容	指定管理に関する事務、施設の維持管理に関する事務

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		11,979	14,671	13,038
事業費	事業費	8,679	10,651	9,538
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	8,679	10,651	9,538
	人件費計	3,300	4,020	3,500
	正規（人）	0.50	0.60	0.50
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	施設の管理運営を指定 管理者へ委託	施設の管理運営を指定 管理者へ委託	施設の管理運営を指定 管理者へ委託
	施設の適正な維持管理 を実施	施設の適正な維持管理 を実施	施設の適正な維持管理 を実施
	指定管理者の公募		

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係
事務事業 02486 安祥閣施設管理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
部屋利用率（利用部屋数 ÷ 利用可能部屋数）	%	28.90 26.22	0.00 30.81	30.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性 1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
2	理由	部屋の貸館は他でも多くありますが、茶室の貸館は少ないです。	
2	必要性	市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	2
3	理由	和室のみとなっているため利用が限定されます。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	部屋利用率は目標を上回ることができました。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
5	理由	指定管理者制度を導入しており、効率的な事業運営をしています。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	民間企業の提案力やノウハウを活かして水準を保っています。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	平成18年度より指定管理制度を採用しています。和室限定の部屋使用ということもあり、お茶会などで利用していただいているものの、利用率は伸び悩んでいるのが現状ですが、令和 6 年度から新たな指定管理者による集客力のある事業が実施されています。また、施設施工より45年以上が経過し老朽化する中で、個別施設計画に基づく改修工事を検討する必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02487 生涯学習計画推進事業

電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	001	1 1 生涯学習 その他			
事務事業	001	生涯学習計画推進事業			
事業期間	平成17年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第2号、第13条、第15条～第18条				
備考					

【事業分析】

対象	生涯学習推進計画が
目的	計画どおりに進捗します。
手段	令和3年3月に第4次安城市生涯学習推進計画を策定し、計画の進行管理・評価を定期的を実施する場として、社会教育審議会に毎年度計画の推進状況を報告し、意見・提言を得る機会を設けます。 また、令和6年度、7年度には、次期生涯学習推進計画の策定業務を行います。
事務内容	生涯学習推進計画の施策・事業の進捗管理、関係部局の関連事業の調査 社会教育審議会の開催、社会教育委員の各種研修会・大会等への参加等 生涯学習推進計画策定業務（令和6年度、7年度）

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		4,256	9,696	10,498
事業費	事業費	626	3,666	4,198
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	626	3,666	4,198
	人件費計	3,630	6,030	6,300
	正規（人）	0.55	0.90	0.90
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	社会教育審議会において、第4次生涯学習推進計画の進捗状況報告	社会教育審議会において、第4次生涯学習推進計画の進捗状況報告	社会教育審議会において、第4次生涯学習推進計画の進捗状況報告
	社会教育委員の各種研修会・大会等への参加	社会教育委員の各種研修会・大会等への参加	社会教育委員の各種研修会・大会等への参加
		次期生涯学習推進計画策定のためのアンケート調査を実施	次期生涯学習推進計画策定

事務事業評価シート（2/2）

2 頁

令和 7年 9月24日
20時41分39秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02487 生涯学習計画推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
生涯学習講座・教室の受講者数	人	7,000.00 6,895.00	0.00 7,464.00	7,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市の計画であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	計画を推進することで、市民の生涯学習の推進に繋がります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	年により多少の増減はありますが、順調に推移しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	社会教育委員に研修会等に参加していただいております。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	委員報酬は市の基準通りです。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	社会教育法に定められた社会教育委員は、市の社会教育に対して助言をする重要な役割があります。意見、提言の場として、引き続き社会教育審議会の開催をしていきます。社会教育委員が県社会教育委員連絡協議会の研修会等に参加するなどし、多様な生涯学習施策の情報や他市の生涯学習活動について情報交換する機会を設けることが重要となるため、研修機会確保の必要があります。 また、令和6年度、7年度には、次期生涯学習推進計画の策定業務を行い、8年度以降には社会教育審議会において進捗状況を報告しご意見を伺うという役割もありますので、事業継続が必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02489 生涯学習市民参画推進事業 電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり			
事務事業	004	生涯学習市民参画推進事業			
事業期間	平成13年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト	○		
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項				
備考					

【事業分析】

対象	生涯学習に意欲のある市民団体が
目的	市と協働することにより、活発に活動できるようになります。
手段	市民団体が企画運営する講座を募集し、市と協働で市民企画講座を開催します。 自主グループが自ら主催する初心者向けの自主グループ主催講座を開催します。
事務内容	講座の募集、開講講座の審査・決定、講座開催の周知・PR、講座の開催等

【コスト】

(単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	10,552	5,804	6,233
事業費	1,312	1,784	2,033
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	57	38	75
一般財源	1,255	1,746	1,958
人件費計	9,240	4,020	4,200
正規（人）	1.40	0.60	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	市民企画講座を開催	市民企画講座を開催	市民企画講座を開催
	自主グループ主催講座を開催	自主グループ主催講座を開催	自主グループ主催講座を開催
	講座を生涯学習情報誌で周知	講座を生涯学習情報誌で周知	講座を生涯学習情報誌で周知
	地域学校協働活動準備	地域学校協働活動準備	

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 7年 9月24日
20時41分39秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02489 生涯学習市民参画推進事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
1 年間に新たに活動を始めた自主グループ数	グループ	15.00 21.00	0.00 22.00	15.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由				
		市民団体の事業で、他の事業団体が行うものではありません。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由				
		多くの団体、自主グループが活動しています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
		目標値以上の自主グループが新たに活動を開始しています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由				
		講座の企画、運営は市民団体が実施しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由				
		団体が、時代などに即した講座を実施しています。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400文字)	多様化する学習ニーズや社会的ニーズに柔軟に対応するため、市民自らが企画・運営し、市民同士で楽しみながら、学び、教える生涯学習活動を目指すための重要な事業として本事業を実施していくことが必要です。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02490 家庭教育・子育て支援事業 電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供			
事務事業	002	家庭教育・子育て支援事業			
事業期間	平成17年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第7号、公民館の設置及び運営に関する基準第4条				
備考					

【事業分析】

対象	子育て中の親が
目的	子育てに関する講座の受講や、親どうしの交流の機会を多く得ることができるようにします。
手段	よりよい家庭教育の推進、社会教育の観点から子育ての支援を図るため、家庭教育講演会や子育て・親育ち広場を開催します。
事務内容	家庭教育講演会における講師の選定・委託、開催 子育て・親育ち広場の運営委託等

【コスト】

(単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	5,340	5,917	6,191
事業費	1,050	1,227	1,291
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,050	1,227	1,291
人件費計	4,290	4,690	4,900
正規（人）	0.65	0.70	0.70
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	家庭教育講演会の開催	家庭教育講演会の開催	家庭教育講演会の開催
	ほのぼの広場、ほのぼのクラブの開催	ほのぼの広場、ほのぼのクラブの開催	ほのぼの広場、ほのぼのクラブの開催

事務事業評価シート（2/2）

6 頁
令和 7年 9月24日
20時41分39秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02490 家庭教育・子育て支援事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
ほのぼの広場への参加人数	人	500.00 724.00	0.00 770.00	800.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
理由		地域の母親対象の事業で、他の事業主体が行うものではありません			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	3		市民ニーズはない又は不明である		
理由		毎年、多くの市民に参加いただいています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
	2		目標を下回る進捗状況である		
	3		進捗はかなり遅れている		
理由		目標値を上回る市民に参加いただいています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
理由		NPO法人に事業運営をお願いしています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由		他市においても様々な家庭教育事業が実施されています。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	社会全体が家庭における子育てや教育を応援し支えていくことが求められ、地域において親の学びを支援する継続的な取り組みを行っていく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02491 生涯学習情報提供事業 電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供			
事務事業	003	生涯学習情報提供事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	社会教育法第 5 条第 1 項第 1 6 号、公民館の設置及び運営に関する基準第 3 条第 2 項				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	生涯学習情報を容易に得ることができます。
手段	市の生涯学習情報を掲載した情報誌「あんでな」を発行します。情報誌概要版は市内全戸配布、製本版は市内公共施設で希望者に配布し、生涯学習情報を市民に提供します。
事務内容	生涯学習情報の収集、情報誌作成委託業者の選定・委託等

【コスト】

(単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	11, 006	7, 526	9, 500
事業費	4, 406	4, 176	6, 000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4, 406	4, 176	6, 000
人件費計	6, 600	3, 350	3, 500
正規（人）	1. 00	0. 50	0. 50
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	生涯学習情報誌「あんでな」発行 年 4 回	生涯学習情報誌「あんでな」発行 年 4 回	生涯学習情報誌「あんでな」発行 年 4 回
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（2/2）

8 頁
令和 7年 9月24日
20時41分39秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02491 生涯学習情報提供事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
生涯学習情報誌の発行回数	回	4.00 4.00	0.00 4.00	4.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市の情報提供であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	市民が生涯学習の情報を得る手段として利用されています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	目標どおりの発行ができています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	ホームページ、カタログポケット、LINEにてPRをしました。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他の自治体においても様々な手法で情報提供されています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民が欲しい情報が、欲しい時に取得できるよう、生涯学習情報誌「あてな」を通じて多様な情報の提供を進めます。また、より分かりやすい、使いやすい情報誌となるようにアプリ活用による情報提供を加えるなど、市民が生涯学習情報を得る重要な手段として継続的に実施していくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02493 公民館講座事業

電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供			
事務事業	004	公民館講座事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	社会教育法第 5 条第 1 項第 6 号、公民館の設置及び運営に関する基準第 3 条第 1 項				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	多様な学習機会の提供を受けることができます。
手段	趣味・教養・健康づくりなど、一人ひとりの生きがいや充実した個人生活の実現につながる学びの機会を提供し、ライフステージ、学びのレベルに応じた学習機会の提供を進めます。
事務内容	講座の企画、講師の依頼、周知、受講生の募集、開催、謝礼の支払

【コスト】

(単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	90,390	87,230	97,595
事業費	12,510	11,520	17,445
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	577	388	621
一般財源	11,933	11,132	16,824
人件費計	77,880	75,710	80,150
正規（人）	11.80	11.30	11.45
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	地区公民館10館で公民館講座、家庭教育学級、乳幼児学級、高齢者教室、へきしんギラクシープラザでシルバークーカレッジ、ものづくり講座等を開催	地区公民館10館で公民館講座、家庭教育学級、乳幼児学級、高齢者教室、へきしんギラクシープラザでシルバークーカレッジ、ものづくり講座等を開催	地区公民館10館で公民館講座、家庭教育学級、乳幼児学級、高齢者教室、へきしんギラクシープラザでシルバークーカレッジ、ものづくり講座等を開催

事務事業評価シート（2/2）

10 頁
令和 7年 9月24日
20時41分39秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02493 公民館講座事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
生涯学習講座・教室の受講者数	人	7,000.00 6,895.00	0.00 7,464.00	7,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	公民館講座であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	講座によっては、抽選で受講者を決定しています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	年により多少の増減はありますが、順調に推移しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	講座ごとにアンケートを取り、次回企画講座の参考としています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他の自治体でも同様に公民館講座を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	社会情勢が刻々と変化しており、生涯学習に求められるテーマもますます多様化する中で、市民一人ひとりの生きがいや充実した個人生活の実現につながる学習機会の充実を図るため、市民ニーズにあった講座・教室を開催していく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

11 頁
令和 7年 9月24日
20時41分40秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02494 公民館地域ふれあい事業 電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	003	学びの成果を地域にいかすつながりづくり			
事務事業	001	公民館地域ふれあい事業			
事業期間	昭和55年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	社会教育法第5条、第20条、公民館の設置及び運営に関する基準第6条				
備考					

【事業分析】

対象	地域住民や地区公民館の利用団体が
目的	地域における交流を深めるようになります。
手段	地区公民館において、地域住民や利用団体が交流する機会と、学習の成果を発表する機会を提供するため、ふれあい事業や公民館まつり等の事業を実施します。
事務内容	地域代表の住民等と事業内容の検討、事業の住民へのPR、事業の実施及び予算の執行

【コスト】

(単位：千円)

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		92,744	91,591	95,819
事業費	事業費	9,584	9,516	12,169
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	9,584	9,516	12,169
	人件費計	83,160	82,075	83,650
	正規（人）	12.60	12.25	11.95
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	地区公民館10館で公民館まつりを開催	地区公民館10館で公民館まつりを開催	地区公民館10館で公民館まつりを開催
	地区公民館で子どもまつり、芸能まつり等の開催	地区公民館で子どもまつり、芸能まつり等の開催	地区公民館で子どもまつり、芸能まつり等の開催

事務事業評価シート（2/2）

12 頁
令和 7年 9月24日
20時41分40秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02494 公民館地域ふれあい事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
公民館まつり等のふれあい事業参加者数		20,000.00 24,192.00	0.00 29,285.00	30,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
理由		公民館の地区が対象であり、他の事業者が行うものではありません			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	3		市民ニーズはない又は不明である		
理由		例年多くの方に参加いただいています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
	2		目標を下回る進捗状況である		
	3		進捗はかなり遅れている		
理由		年によって増減はあるが、順調に推移しています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
理由		公民館まつり実行委員会で、運営方法について協議しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由		他の施設においても同様の事業が実施されています。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	地区公民館において、幅広い世代の地域住民の交流を広げるために、各地域、公民館において地域住民のニーズを踏まえつつ、特色ある事業を展開していく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02498 講座等参加支援事業

電話番号 0566-76-1515

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供			
事務事業	005	講座等参加支援事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項				
備考					

【事業分析】

対象	子育て世代や障害者が
目的	希望する講座を受講しやすい環境を作ります。
手段	子育て世代への講座参加支援として、託児付きの講座を開催します。また、障害者への参加支援として、手話通訳者や要約筆記者を設置した講演会等を開催します。
事務内容	託児者、手話通訳者、要約筆記者の手配、報償費の支払、託児世話人研修会の開催、託児世話人賠償責任保険の加入

【コスト】

(単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	4,052	3,615	4,997
事業費	2,402	2,610	3,947
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	20	22	36
一般財源	2,382	2,588	3,911
人件費計	1,650	1,005	1,050
正規（人）	0.25	0.15	0.15
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	託児付講座の開催	託児付講座の開催	託児付講座の開催
	手話通訳者・要約筆記者をつけた講座等の開催	手話通訳者・要約筆記者をつけた講座等の開催	手話通訳者・要約筆記者をつけた講座等の開催

事務事業評価シート（2/2）

14 頁
令和 7年 9月24日
20時41分40秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係
事務事業 02498 講座等参加支援事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
参加支援をした講座数	講座	35.00 38.00	0.00 31.00	35.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市事業で託児を行うものであり、他で行うものではありません。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	多くの方に利用いただいています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	年によって増減はあるが、順調に推移しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	託児グループとの打ち合わせを行っている。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他の自治体でも託児を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	育児に携わる方への生涯学習を推進していくため、市民や市民団体の協力を得ながら、託児付きの公民館講座を継続的に開催していく必要があります。また、障害者への生涯学習を推進するため、講演会などに手話通訳者や要約筆記者を設置するなど、障害者に対する配慮が必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁

令和 7年11月 6日
10時00分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02499 青少年の家管理運営事務

電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり			
事務事業	005	青少年の家管理運営事務			
事業期間	昭和58年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	安城市青少年の家の設置及び管理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	青少年の家利用者が
目的	施設を快適に利用することができます。
手段	青少年が研修等の活動を行うため施設内の部屋を貸し出し、活動をする場所を提供します。
事務内容	利用申請書の受付、施設管理事務等

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	26,623	24,806	27,054
事業費	23,983	22,126	24,254
国庫支出金	0	69	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	2,294	2,457	2,100
一般財源	21,689	19,600	22,154
人件費計	2,640	2,680	2,800
正規（人）	0.40	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	青少年の家利用回数	青少年の家利用回数	青少年の家利用回数
	4,695回	5,414回	5,420回
	利用人数	利用人数	利用人数
	51,484人	51,704人	51,800人

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月 6日
10時00分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02499 青少年の家管理運営事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
青少年の家利用登録団体数青少年団体	団体	75.00 68.00	0.00 85.00	90.00 0.00
青少年の家利用登録団体数一般団体	団体	80.00 74.00	0.00 67.00	70.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	青少年の健全育成を目的とした市内唯一の施設です。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	青少年団体等の活動施設としてニーズがあります。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	青少年団体の利用が目標どおりあります。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
5	理由	利用促進につながる取り組みを実施しました。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	利用団体が必要とするサービス水準です。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	青少年の健全育成を目的とした施設であり、青少年団体等の活動の場として利用されています。 引き続き多数の団体に継続して利用してもらえるよう工夫が必要です。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁
令和 7 年 11 月 6 日
10 時 00 分 50 秒

評価年度 令和 6 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02500 少年団体支援事業

電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	001	1 1 生涯学習 その他			
事務事業	002	少年団体支援事業			
事業期間	昭和59年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	小学生が
目的	参加する活動を通して健全育成が図られます。
手段	活動する団体等（スカウト、子ども会）に対して補助を行うことで健全育成活動の円滑化・充実化を図ります。
事務内容	安城市スカウト連絡協議会、安城市子ども会育成連絡協議会、又は同協議会における各学区育成会の計画・補助金の申請、事業実施、事業報告、補助金の交付。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5 年度 決算額	令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 予算額
トータルコスト		11,775	10,975	11,795
事業費	事業費	6,495	5,615	6,195
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	6,495	5,615	6,195
	人件費計	5,280	5,360	5,600
	正規（人）	0.80	0.80	0.80
その他経費		0	0	0

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
【事務事業活動実績】	安城市子ども会加入者数 4,226 人 ボーイスカウト・ガールスカウト加入者数 259 人	安城市子ども会加入者数 3,806 人 ボーイスカウト・ガールスカウト加入者数 255 人	安城市子ども会加入者数 3,252 人 ボーイスカウト・ガールスカウト加入者数 249 人

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 7年11月 6日
10時00分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02500 少年団体支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
子ども会加入者数	人	4,600.00 4,226.00	0.00 3,806.00	3,252.00 0.00
スカウト加入者数	人	250.00 259.00	0.00 255.00	249.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
理由	地域で活動する団体の支援であり、他機関は実施していません。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	少年団体から支援を必要とされています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	団体加入者数が減少しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	活動内容の見直し、役員の負担軽減を目指しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他自治体も同様の事業を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	地域での団体活動や奉仕活動を通して子どもたちの健全育成を図ります。 加入者数が減少傾向にあるため、各団体の活動内容の見直しや魅力の発信を促すとともに、役員や指導者の負担軽減を検討します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02501 青年講座事業

電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	001	1 1 生涯学習 その他			
事務事業	003	青年講座事業			
事業期間	昭和27年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ユースカレッジ事業 ・ヤングセミナー事業				

【事業分析】

対象	講座に参加する青年が
目的	余暇を有効に活用して、生涯学習を行う又は深める機会を提供します。
手段	様々な分野で、青年自身の生涯学習となる講座を年間を通じて開催します。
事務内容	講座の企画・立案、開催。講師の選定。受講者の募集。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		6,513	6,539	7,303
事業費	事業費	1,233	1,179	1,703
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	22	32	25
	一般財源	1,211	1,147	1,678
	人件費計	5,280	5,360	5,600
	正規（人）	0.80	0.80	0.80
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	青年講座数 9 講座 ユースカレッジ講座回 数 4 2 回	青年講座数 8 講座 ユースカレッジ講座回 数 3 7 回	青年講座数 8 講座 ユースカレッジ講座回 数 3 5 回

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 7年11月 6日
10時00分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02501 青年講座事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
ヤングセミナー（青年講座）参加者数	人	80.00	0.00	80.00
		79.00	78.00	0.00
ユースカレッジ修了者数	人	15.00	0.00	15.00
		14.00	16.00	0.00
青年企画委員会（養成対象）人数	人	5.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	青年の育成を目的とした事業のため市が実施します。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	2
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	参加希望者は減少しつつあります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	参加者、修了者が減少しつつあります。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	講座内容の見直しを実施しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	2
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	青年講座は他と同水準だが、ユースカレッジは他例に乏しいです。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	青年に充実した学びの場を提供することで、知識や教養を高め、健やかな青少年の育成に寄与できるため継続をしていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

7 頁

令和 7年11月 6日
10時00分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02502 成人の日記念事業

電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	001	1 1 生涯学習 その他			
事務事業	004	成人の日記念事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考	2022年4月の民法改正に伴い、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたが、従来どおり20歳を対象としてお祝いの式典を開催することとした。 2023年1月以降は、式典の名称を「成人式」から「二十歳を祝う会」に変更。				

【事業分析】

対象	今年度二十歳を迎える人が
目的	人生の節目を祝福されるため、二十歳を祝う会に参加します。
手段	二十歳を祝福する記念式典とアトラクションを開催します。
事務内容	二十歳を祝う会の開催 ・実行委員会の開催 ・会場設営、警備などの委託 ・記念冊子作成 ・対象者、来賓等への案内

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	8,461	9,679	11,851
事業費	4,501	5,659	7,651
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	10	10	0
一般財源	4,491	5,649	7,651
人件費計	3,960	4,020	4,200
正規（人）	0.60	0.60	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	対象者の参加者数 第1部 772人 第2部 762人 合計1,534人 （東祥アリーナ安城にて開催）	対象者の参加者数 計1,497人 （東祥アリーナ安城にて開催） 令和6年度から1部制。	対象者の参加者数 計1,500人 （東祥アリーナ安城にて開催）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02502 成人の日記念事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
式典の参加者率	%	75.00 76.10	0.00 75.80	76.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		他機関では実施していません。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		対象者の 8 割弱が参加しています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		目標以上の出席があります。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		記念冊子費用を広告収入で賄い、事業費を削減しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		他自治体も同様の事業を実施しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	二十歳という人生の節目を祝う場として必要であるため、継続して実施します。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

事務事業 02503 青少年指導者養成事業

電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	001	1 1 生涯学習 その他			
事務事業	005	青少年指導者養成事業			
事業期間	昭和28年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から次に掲げる事業を統合しています。 ・青年指導者養成講座 ・ジュニアリーダー ・年少リーダー育成事業 ・市民盆踊りの集い開催事業 平成 2 9 年度の公開行政レビューの結果、平成 3 0 年度から市民盆踊りの集い開催事業を廃止しています。				

【事業分析】

対象	青少年が
目的	生涯学習の機会を得て、社会活動への参加・交流及び地域のリーダーとしての資質を得ます。
手段	青少年が行事を企画・実施する能力を養うため、研修会に参加し、地域のイベント等でアトラクション等を企画・実施します。
事務内容	研修会開催通知発送、行事企画運営の指導、指導者の育成。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	1,115	1,179	1,293
事業費	455	509	593
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	455	509	593
人件費計	660	670	700
正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	ジュニアリーダー研修会、市子連行事及び市主催行事参加回数 1 3 回	ジュニアリーダー研修会、市子連行事及び市主催行事参加回数 1 3 回	ジュニアリーダー研修会、市子連行事及び市主催行事参加回数 1 3 回

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

10 頁
令和 7年11月 6日
10時00分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02503 青少年指導者養成事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
ジュニアリーダークラブ会員数	人	15.00 13.00	0.00 16.00	16.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	地域におけるリーダーの養成であり、市が実施します。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	子ども会からの派遣要請があります。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	若干だが、参加者数の増加がありました。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
5	理由	充実した研修内容となるよう検討・改善に努めています。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	他自治体にも同様の事業があります。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	地域のリーダーとなるべく必要な知識や企画力を習得し、活躍できる青少年の要請を目的としており、今後も継続する必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

11 頁
令和 7年11月 6日
10時00分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02504 青少年健全育成事業

電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	001	1 1 生涯学習 その他			
事務事業	006	青少年健全育成事業			
事業期間	昭和57年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	安城市青少年愛護センターの設置及び管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 青少年健全育成会等活動推進事業 ・ 青少年街頭指導事業 ・ こども110番の家設置事業 ・ 地域のおじさん・おばさん運動推進事業 平成 3 0 年度をもって、地域のおじさん・おばさん運動を廃止し、青少年街頭指導を休止しました。 平成 3 1 年度より事務事業名を以下のとおり変更しています。 （旧称）青少年愛護センター事業 （改名）青少年健全育成事業				

【事業分析】

対象	青少年を
目的	地域で見守ることによって有害環境から守り、家庭の外での安全性を確保し、青少年の健全育成に資するものです。
手段	青少年に対しての声かけ、こども 1 1 0 番の家ののぼり旗設置による犯罪抑止、各小中高等学校の青少年健全育成会等に活動を委託しています。
事務内容	青少年健全育成の推進。各小中高等学校の青少年健全育成会等との委託契約、活動内容の把握及び指導。こども 1 1 0 番の家加入状況の管理とのぼり旗の配布。困難を抱える若者に対する相談支援。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		19,480	22,289	24,786
事業費		13,540	16,259	18,486
	国庫支出金	0	3,500	3,500
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	126	181	83
	一般財源	13,414	12,578	14,903
人件費計		5,940	6,030	6,300
	正規（人）	0.90	0.90	0.90
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	健全育成会数 3 6 健全育成協議会数 9 こども 1 1 0 番の家の のぼり旗配布 のぼり旗設置状況調査 （全件） 若者相談回数 2 6 6 回 親の学習会 6 回	健全育成会数 3 6 健全育成協議会数 9 こども 1 1 0 番の家の のぼり旗配布 のぼり旗設置状況調査 （全件） 若者相談回数 1 1 4 6 回 親の学習会 5 回	健全育成会数 3 6 健全育成協議会数 9 こども 1 1 0 番の家の のぼり旗配布 のぼり旗設置状況調査 （全件） 若者相談回数 1 3 0 0 回 親の学習会 6 回

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

12 頁
令和 7年11月 6日
10時00分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02504 青少年健全育成事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
こども 1 1 0 番の家設置数	箇所	1,160.00 1,173.00	0.00 1,157.00	1,160.00 0.00
困難を抱える若者相談者数	人	80.00 84.00	0.00 118.00	120.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	本市の青少年健全育成事業であり、他機関では実施していません。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	社会全体の課題であり、必要とされています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由	こども110番の家の設置数が減少しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	困難を抱える若者が、相談しやすい取組としました。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	市民ニーズに見合う水準となっています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	青少年の健全育成に必要な事業です。 青少年のを取り巻く環境は常に変化し、抱える問題も多様化しているため、時代にあった取り組みや支援方法を検討し、継続していきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係

事務事業 02506 青少年ボランティア活動支援センター事業 電話番号

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	001	1 1 生涯学習 その他			
事務事業	007	青少年ボランティア活動支援センター事業			
事業期間	平成15年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	青少年団体が
目的	活動においてボランティア講師等を必要とした場合の支援をします。
手段	ボランティア情報の収集・提供、相談などボランティアに関するコーディネートを行う。また、指導者や講師を登録し、青少年活動を支援する人材として活用します。
事務内容	ボランティアの発掘、登録、コーディネート

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		1,747	2,180	2,497
事業費	事業費	1,087	1,510	1,797
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,087	1,510	1,797
	人件費計	660	670	700
	正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	青少年ボランティアの コーディネート件数 2 1 件	青少年ボランティアの コーディネート件数 1 9 件	青少年ボランティアの コーディネート件数 1 5 件

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

14 頁
令和 7年11月 6日
10時00分51秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02506 青少年ボランティア活動支援センター事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
コーディネート件数	件	15.00	0.00	15.00
		21.00	19.00	0.00
登録者数	人	50.00	0.00	49.00
		49.00	49.00	0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	2
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
2	理由	ボランティア活動推進のため、市の活動も必要です。	2
		必要性	
		市民ニーズの有無	
		1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
3	理由	子ども会の減少に伴い、派遣コーディネート依頼数が減っています	1
		有効性	
		目標に対する進捗状況	
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
4	理由	おおむね目標どおりの件数です。	2
		効率性	
		事業の効率化・事業費の削減	
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
5	理由	少年団体への派遣PRをしました。	1
		公平性	
		事業規模・サービス水準	
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
	理由	3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	子ども会をはじめとした青少年団体がボランティアを必要とする機会があるため、ボランティアをコーディネートする当該事業は今後も継続して実施します。 青少年の家機能移転にあわせ、移行内容の検討をします。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02507 子ども運動広場補助事業

電話番号 0566-76-3432

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	007	1 1 生涯学習			
施策の取組	001	1 1 生涯学習 その他			
事務事業	008	子ども運動広場補助事業			
事業期間	昭和53年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	子ども運動広場設置事業補助金交付要綱				
備考					

【事業分析】

対象	子どもたちが
目的	地元の広場で安全に運動できます。
手段	町内会が設置する子ども運動広場の開設、設備の更新・修繕、管理にかかる費用等を補助金交付要綱に基づき、補助しています。
事務内容	補助金交付要綱に基づき、町内会から申請書受理。その後審査、決定、交付事務。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		22,470	19,529	22,911
事業費	事業費	21,150	18,189	21,511
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	21,150	18,189	21,511
	人件費計	1,320	1,340	1,400
	正規（人）	0.20	0.20	0.20
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	2 3 箇所の子ども運動 広場に補助	2 2 箇所の子ども運動 広場に補助	2 2 箇所の子ども運動 広場に補助

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

16 頁

令和 7年11月 6日
10時00分51秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係
事務事業 02507 子ども運動広場補助事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
子どもたちの利用回数	回	1,500.00 1,317.00	0.00 1,361.00	1,361.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	町内会の管理運営する広場に補助をしています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	地域の子どもたちや少年団体が利用します。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由	広場の廃止もあるが、利用者数は目標どおりです。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	広場の管理状況を把握し、適正な補助を実施しました。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	2
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他事業の水準に合わせた補助となっています。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	本事業は、町内会による子ども運動広場の開設や管理運営費用の一部を補助する事業であり、地域における子どもたちの体力向上及びスポーツ振興を図るために必要であるため、今後も事業を継続します。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。